事務事業調書(通常評価		:評価)							
事務事業名		火クラブ活動	事業			事業開	開始年度 平	-成26年度		
担当課	総合政	策部 総務認	2		担当者	井.	上拓俊			
■事業の執行計	画【計画	画(Plan)】				·				
	政策	05	機能的で住み	ょやすい安	全な都市機能	}				
総合計画体系	施策	04	いのちとくら	しを守る	災害に強いま	きろづくり				
	基本事	基本事業 01 市民の防災意識の向上								
事業の目的	家庭にる	おける火災予	防の知識習得や地	地域全体の[防火意識の高持	易を目的とする	5.			
事業の概要	女性防:	火クラブの活	動を通じて、市民	に向けた	防火防災啓発 決	舌動を行う。				
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6年	F度	7:	年度		
事業費の推移	実績	実績/当初予算 実績			実績		当初			
	彩	総事業費	145			19		150		
■前年度の事業	分析【訂	泙価 (Check)								
	指標	+15-1	あな 状	光十	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	拍	票名称	単位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	火災発生件数		件	11	19	10	8		
	活動	事業の延べ参加		人	54	69	70	70		
	評価	〇達成、	既ね達成した	●多少は達	成した 〇遺	Ӗ成できず				
達成度の		指標1に関	目しては令和6年	度目標5件	-に対し実績19	9件、指標2に	関しては令和	16年度目標60		
評価と説明	説明 人に対し実績69人であり、多少は目標を達成した。									
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (O余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●糸	戻地なし			
■将来方向性【	改善(A	oction)								
事業の方向性	〇見直	し継続 ● 明	現状どおり継続!	〇廃止・	完了					
資源方向性	予算		: ●現状 〇縮小	-	業務量	○拡大(現状 〇縮小	\		

事務事業調書(通常評	·価事業 事後	評価)							
事務事業名	木造住	E宅耐震診断・				事業開	始年度	平成20年度		
担当課	建設音	阝 都市整備誤	Ę.		担当者	池	兄 貴洋			
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】								
	政策	05	機能的で住み	りやすい安	全な都市機能					
総合計画体系	施策	04	いのちとくら	らしを守る	災害に強いま	ちづくり				
	基本事	第 01	市民の防災意	意識の向上						
古世の口め	耐震診	震診断を実施することにより、耐震性の有無を把握し、耐震化するよう促す。								
事業の目的			又は除却を実施し			の倒壊被害をな	にくす 。			
古米の畑田	昭和56	6年5月31日以前	前の旧耐震基準で	建築された	:木造戸建住宅	で、耐震診断	あるいは改修	麥•		
事業の概要			る場合に、診断士							
■事業実施結果										
		年度	5年度		6年	度		7年度		
事業費の推移	実績	漬/当初予算	実績		実			当初		
		総事業費	1, 824		6, 5	47	19, 025			
■前年度の事業	分析【	評価 (Check)								
	指標	+6+	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	181	宗	単位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	耐震診断実施件	жь	1 件	19	26	20	20		
担保の推修	八米	展彰例天旭件:	奴	! 1 *	19	20	20	20		
	成果	耐震改修等実施	IH 米h	1 件	17	13	13	13		
	******						13	13		
	評価				成した 〇遺			•		
達成度の			†画16件に対して							
評価と説明	説明		†画13件に対して							
※R6より耐震診断地業・耐震改修事業を1つに統合している										
見直し余地 判定 ○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし										
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性			!状どおり継続	〇廃止・			·			
資源方向性	予算	算額 〇拡大	:●現状 ○縮小		業務量	○拡大	現状 〇縮	小		

	通常評		:評価)								
事務事業名	ブロッ	ク塀等撤去費	補助事業			事業開	開始年度 一名	和元年度			
担当課	建設部	都市整備調	7		担当者	小	林 悠人				
■事業の執行計											
	政策	05	機能的で住み	みやすい安	全な都市機能	;					
総合計画体系	施策	04	いのちとくら	らしを守る	災害に強いま	ちづくり					
	基本事	本事業 01 市民の防災意識の向上									
事業の目的	地震等	によるブロッ	ク塀等の倒壊、軸	⊼落等を防」	上し、もってī	市民の安全を研	催保するため	0			
事業の概要		面したブロッ	ク塀等の撤去等を	と行う所有	者等に対し、 拍	敞去費用の一部	『を補助する	0			
■事業実施結果	【実施	(Do)									
		年度	5年度		6年	度	7	年度			
事業費の推移	実績	責/当初予算	実績		実	績		当初			
	糸	総事業費	197			99		戻するため 。			
■前年度の事業	分析【記	評価 (Check)									
	指標	+6+	票名称	単位	5年度	6年度					
	区分	担任	示句例	中世	実績	実績	計画	計画			
指標の推移	成果	ブロック塀撤去	数	箇所	2	5	2	2			
	評価	●達成、村	既ね達成した (○多少は達	成した 〇道	成できず		•			
達成度の			-ジや広報誌によ								
評価と説明	説明										
見直し余地	判定	○粉年内/	こ見直し可能 (<u> </u>	るがまだ時間	が必要 ▲4	<u></u> k地なし				
		Action)】	- 兄旦しり能 (ンホ地はめ	るかなに呼回	」ル・必女 サカ	ト心なし				
事業の方向性											
<u>事業の方向性</u> 資源方向性											
具脲刀凹性	予算額 ●拡大 ○現状 ○縮小 業務量 ●拡大 ○現状 ○縮小										

9 350 9 514 May 1 1			評価)								
事務事業名	自主防	災組織活動支	え 援事業			事業開	始年度 平	² 成28年度			
担当課	総合政	(策部 総務課	Ę.		担当者	井.	上 拓俊				
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】									
	政策	05	機能的で住み	かすい安	全な都市機能						
総合計画体系	施策	04	いのちとくら	しを守る	災害に強いま	ちづくり					
10 11 11 11	基本事	業 02	地域防災力の								
	市内各	内各行政区ごとに自主防災組織が設立されることで、災害時の初期活動を自ら行うことに									
事業の目的			に抑えることを目			100 10000000000000000000000000000000000		_,_			
			自主防災組織の設			まるため 結局	が初期段階に	必要			
事業の概要			購入補助及び設立					20 5			
■事業実施結果					<u>- 7,1 / U.E. </u>		0				
ニテルスがいれた		年度	5年度		6年	 E度	度 7年度				
事業費の推移	宝彩	責/当初予算	実績			<u>凌</u> 績	当初				
ず木貝の配が		総事業費 1.506			2.5		4, 300				
■前年度の事業	1) - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -										
一的「及の子木	指標				5年度	6年度	7年度	8年度			
	区分	指标	票名称	単位	実績	実績	計画	計画			
		担約に其づく「	 自主防災組織」の設								
指標の推移	成果	成約に基づく「 立数	日工例火札幌」の設	団体	43	48	52	57			
		<u> </u>									
	評価	」 ●達成、ホ	既ね達成した (タルけ達	成した 〇语	L E成できず	<u> </u>				
達成度の	ріш		<u>間線を成した</u> 1日織が令和6年度				上かった 巻	タ 継 材 オ 助 ルーク			
評価と説明	説明						C 4 11-0 5	引成物 竹田 り川こ フ			
計画 乙酰奶	説明 いては2団体に交付、運営費補助については17団体に交付した。										
見直し余地	判定	· ○粉年内/	- 目古 司部	全地はち	スがまだ時間	が必要 〇名	≥++h <i>†</i> ≥				
	JOH O WAS A STATE OF THE OWNER OW										
事業の方向性				〇廃止・	≐マ						
<u>事業の方向性</u> 資源方向性				, - ,		■ ₩+ C	油作 〇烷/	ls .			
	予算額 ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ●拡大 ○現状 ○縮小										

事務事業調書((評価)							
事務事業名	防災行	「政無線管理 事	業				開始年度 平	成26年度		
担当課	総合政	双策部 総務認	Ę.		担当者	井.	上 拓俊			
■事業の執行計		画(Plan)】								
	政策	05	機能的で住み	りやすい安	全な都市機能					
総合計画体系	施策	04	いのちとくら	らしを守る	災害に強いま	きづくり				
	基本事		災害情報の充							
事業の目的	防災行	政無線局を2	4時間運用可能な	は状態する。						
事業の概要	無線	局定期点検(災行政無線の維持 年1回)	特管理を行	う。					
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6生	F度	74	丰度		
事業費の推移	実紀	漬/当初予算	実績		美	:績	当初			
		総事業費	380, 813			0		0		
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	ti: t	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	181	宗1717	丰匹	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	屋外無線局の故	障件数	件	0	0	0	0		
	評価	■達成、	既ね達成した (○多少は達	成した 〇월	を 成できず		•		
達成度の		令和4年度	は、落雷等により	ノー時的に	3箇所の無線局	が使用できな	くなり修理を	·行ったが、令		
評価と説明	説明	和5年度に	おいては修理した	と無線局は	無かった。					
見直し余地	判定		こ見直し可能 (<u>)余地はあ</u>	るがまだ時間	引が必要 〇名	≹地なし			
		Action)]								
事業の方向性		[し継続 ○明	状どおり継続	●廃止・ <u>:</u>						
資源方向性	予算	算額 ○拡大	:○現状 ●縮小		業務量)現状 ●縮小	\		

			:評価)							
事務事業名	防災行	了 政無線戸別受	信機貸与事業			事業開	開始年度 平	成28年度		
担当課	総合政	対策部 総務 認	₹		担当者	f 井.	上拓俊			
■事業の執行計	画【計									
	政策	05	機能的で住み	りやすい安	全な都市機能					
総合計画体系	施策	04			災害に強いま	ちづくり				
	基本事		災害情報の発	注						
事業の目的	屋外拉	声子局難聴区	域の解消							
事業の概要	望者に	対し無償貸与	区域以外に居住 <i>の</i> する。	D方に対し、	屋内でも聞く	くことが可能な	は戸別受信機で	を希		
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6年	度	7:	年度		
事業費の推移	実績	績/当初予算	実績		実	績	<u>1</u>	7年度 当初 0 7年度 8年度		
		総事業費	0		()		0		
■前年度の事業	分析【	評価 (Check)								
	指標	+5+	票名称	単位	5年度	6年度				
	区分	181	示句例	中世	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	聞こえないとい	う苦情件数	件	0	0	0	0		
	評価	」 ●達成、	既ね達成した (○多少は達	成した 〇達	成できず		•		
達成度の			投貸与事業の推進							
評価と説明	説明									
見直し余地	判定	〖 ●数年内	<u> こ見直し可能 (</u>	<u> つ余地はあ</u>	るがまだ時間	が必要 〇名	<u>k地なし</u>			
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性		夏し継続 ○明	状どおり継続	〇廃止・						
資源方向性	予算	算額 〇拡大	:○現状 ●縮小	١	業務量)現状 ●縮小	`		

事務事業調書(通常評	価事業 事後	評価)							
事務事業名	消防団	運営事業				事業開	開始年度 平	成17年度		
担当課	総合政	(策部 総務談	R		担当者	井.	上 拓俊			
■事業の執行計						•				
	政策	05	機能的で住み	メやすい安	全な都市機能					
総合計画体系	施策	04	いのちとくら	しを守る	災害に強いま	ちづくり				
1.0 [] [] [] []		本事業 04 行政による防災体制の整備								
+ 414 0 17 44			発生時に効果的な			その活動が効率	を的に運営され	ı		
事業の目的	る。		20		0 1					
		報酬支払、出	動時の費用弁償、	装備品更新	新(制服、ホ-	ース等)、消防	方ポンプ車の約	#持		
事業の概要	管理費		害補償の負担金等				3-1-2-4	21.7		
■事業実施結果	【実施	(Do)		, 10:1	7. 7 0 0					
		年度	5年度		6年	F度	7年	F 度		
事業費の推移	実績	責/当初予算	実績		実績		当初			
	ź	総事業費	48, 629		67.			259		
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	+6.	ボ ク 1 ケ	34 /T	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	拍	漂名称	単位	実績	実績	計画	計画		
七冊の批ね		沙吐口号の大口		0/	81. 8	102	100	100		
指標の推移	成果	消防団員の充足	^	%	01.0	102	100	100		
	評価	●達成、	概ね達成した ()多少は達	成した 〇遺	権成できず	•			
達成度の		団員数は村	黄ばいだが、条例	定数を見直	したことから	一般消防団員	の充足率は上	がっている。		
評価と説明	説明									
見直し余地	判定	O数年内	に見直し可能	●余地はあ	るがまだ時間	引が必要 〇分	余地なし			
■将来方向性【	改善(Action)]								
事業の方向性	〇見直	し継続 ●3	見状どおり継続	〇廃止・	完了					
資源方向性	予算		、●現状 〇縮小		業務量	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	●現状 〇縮小	\		

事務事業調書(通常評価		:評価)								
事務事業名	消防施設	と整備事業					始年度 平	·成17年度			
担当課	総合政策	部 総務調	7		担当者	t 井.	上 拓俊				
■事業の執行計					•	•					
	政策	05	機能的で住み	メやすい安	全な都市機能						
総合計画体系	施策	04	いのちとくら	<u>しを守る</u>	災害に強いま	ちづくり					
	基本事業	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1									
事業の目的		市が消防団機能を有効かつ適切に発揮し、市民の生命身体財産を災害等から守ることを目的									
争未の日町	とする。										
事業の概要			軍及び詰所や、耐	震化され	ていない詰所る	を計画的に更新	fし、火災・∮	災害			
		対応する。									
■事業実施結果	【実施(Do)									
	左	丰度	5年度		6年	度	7:	年度			
事業費の推移	実績/当初予算 実績				実績		当初				
		事業費	0		(0 0					
■前年度の事業分析【評価(Check)】											
	指標	t⊵t	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度			
	区分	111	示17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 1	平位	実績	実績	計画	計画			
指標の推移		員が待機する	ことができる詰所割	%	100	100	100	100			
1日1示り71日1夕	/ 日 利 合			70	100	100	100	100			
	活動一耐	震化に適合す	る詰所割合	%	100	100	100	100			
	1,2,7,0	21021,	• HE // H. H	, •			100	100			
, 15	評価)多少は達		成できず					
達成度の		令和4年度	₹に団員が待機で	きる詰所害	合100%を達成	成した。					
評価と説明	説明										
見直し余地	判定		こ見直し可能 (<u>)余地はあ</u>	るがまだ時間	が必要 ●3	<u>≷地なし</u>				
■将来方向性【改善(Action)】											
事業の方向性	〇見直し			<u> 〇廃止・</u>							
資源方向性	予算額	頁 〇拡大	: ○現状 ●縮小		業務量)現状 ●縮小	\			

	通常評	価事業 事後	評価)						
事務事業名	防災事	業費				事業開	開始年度 平	成26年度	
担当課	総合政	(策部 総務誤	*		担当者	f 井.	上 拓俊		
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】							
	政策	05	機能的で住み	みやすい安	全な都市機能				
総合計画体系	施策	04			災害に強いま	ちづくり			
	基本事	業 04	行政による防	方災体制の	整備				
事業の目的	様々な	災害に対応で	きる防災体制の整	整備並びに、	避難住民に必	必要な食糧等を	を確保する。		
事業の概要	入、管	理する。	画による防災体制	の整備を	行う。毎年度、	計画的に食料	量等備蓄品を期	,	
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	度		F 度	
事業費の推移	実績	責/当初予算	実績		実	績	当初		
		総事業費	14, 685		19,	151	23,	117	
■前年度の事業		評価(Check)]						
	指標	ti: t	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	111	宗'口'你	辛匹	実績	実績	計画	計画	
指標の推移		避難予想住民数 数	に対する食糧の充足	食	6. 4	6. 2	5. 5	5. 2	
	評価	」●達成、	既ね達成した (○多少は達	成した 〇達	成できず	•	•	
達成度の		計画的に値	講蓄品を購入した	0					
評価と説明	説明								
見直し余地	判定	○数年内(こ見直し可能 (O余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●会	戻地なし		
■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性		し継続 ●明	!状どおり継続	〇廃止・	完了				
資源方向性	予算				業務量	○拡大	●現状 〇縮小	·	

事務事業調書(通常評	価事業 事後	評価)								
事務事業名	消防団	点検事業				事業開	開始年度 平	成26年度			
担当課	総合政	(策部 総務語	Ę.		担当者	井.	上拓俊				
■事業の執行計					·						
	政策	05	機能的で住み	メやすい安	全な都市機能						
総合計画体系	施策	04	いのちとくら	しを守る	災害に強いま	ちづくり					
1.0 [] [] [] []	基本事	業 04	行政による防	災体制の	 整備						
+ 414 0 17 44		種点検及び競技会を通じて、厳正な規律の保持、行動、資機材の確認を行うことにより非									
事業の目的			な行動が図れるよ			2011 TO THE REST C 1		, , ,			
			時に、人員、服装			を実施する。夏	夏季においては	t .			
事業の概要			法競技も実施し消				2,1-000 0.0				
■事業実施結果	【実施	(Do)		101000	13-24 32 2 10-7	<u> </u>					
		年度	5年度		6至	 F度	75	丰度			
事業費の推移	実績/当初予算		実績		美	績	当初				
7 51050 10 12 15	1	総事業費	900			0		0			
■前年度の事業	■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	415.1		24 / 1	5年度	6年度	7年度	8年度			
	区分	1百个	票名称	単位	実績	実績	計画	計画			
比価の批ね	>T ∓L	54 LW 4 L 2	ale L		010	007	250	250			
指標の推移	活動	夏季点検参加者	致	人	210	207	350	350			
	評価	○達成、	既ね達成した	多少は達	成した 〇道	権成できず	•				
達成度の		消防団員の	D負担軽減のため	、操法競技	大会は廃止し	/、夏季点検の	み実施した。				
評価と説明	説明	1									
	me-51										
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能	余地はあ	るがまだ時間	別が必要 ○分	戻地なし				
■将来方向性【											
事業の方向性			状どおり継続	〇廃止・:	完了						
資源方向性	予算		: ○現状 ●縮小		業務量)現状 ●縮小	١			

事務事業調書(通常評価		評価)								
事務事業名	草川地区	雨水排水丸	策事業			事業開	始年度 令	`和 3年度			
担当課	建設部	建設課			担当者	笹汐	召 雅				
■事業の執行計	画【計画	(Plan)			·	·					
	政策	05			全な都市機能						
総合計画体系	施策	04	いのちとくらしを守る災害に強いまちづくり								
	基本事業	€ 05	土砂災害・浸	浸水対策の	整備						
古世の口む	安心・安	心・安全な生活環境を実現するため、局地的豪雨が発生しても市街地における浸水被害の									
事業の目的	防止と安	正と安全に通行できる道路環境の整備を推進する。									
丰			市街地の雨水排水			測量・構造物	設計・物件割	調			
事業の概要			こより事業を実施					-			
■事業実施結果		Do)									
	ź	丰度	5年度		6年	度	7:	年度			
事業費の推移	実績/:	当初予算	実績								
7 51456 17 12 15	総事	事業費	43, 216		19. 2		7年度 当初 0 7年度 8年度 計画 計画				
■前年度の事業	■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	±⊬.1	ボ カ エト	24 /T	5年度	6年度	7年度	8年度			
	区分	指不	票名称	単位	実績	実績					
+r.1= 0.14.10		/ **		9.4							
指標の推移	成果整	備率		%	100						
	評価	●達成、村	既ね達成した()多少は達	成した 〇達	成できず		•			
達成度の											
評価と説明	説明										
	1,000										
見直し余地	判定	〇数年内(こ見直し可能 ()余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●弁	(地なし				
■将来方向性【改善(Action)】											
事業の方向性	〇見直し	·継続 〇 明	状どおり継続	●廃止・ 3	 完了						
資源方向性	予算客				業務量	O拡大 C)現状 ●縮小	١			

事務事業調書(評価)								
事務事業名	卵の里	ふれあいアン	/ダー冠水対策事	業			始年度 令	和 4年度			
担当課	建設部	3 建設課			担当者	金	田 昂平				
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】									
	政策	05	機能的で住み	メやすい安	全な都市機能	3					
総合計画体系	施策	04	いのちとくら	しを守る	災害に強いま	:ちづくり					
	基本事	基本事業 05 土砂災害・浸水対策の整備									
事業の目的			ダーの大雨時の安								
事業の概要	大雨時	における卯の	里ふれあいアンタ	「一の冠水	対策事業						
■事業実施結果	【実施	(Do)									
		年度	5年度		6生	 F度	7:	年度			
事業費の推移	実績	漬/当初予算	実績		美	!績		当初			
		総事業費	61		28,			0			
■前年度の事業	■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	+15.4	ボ ク 1 を	334 J.T.	5年度	6年度	7年度	8年度			
	区分	1百1	票名称	単位	実績	実績	計画	計画			
指標の推移	成果	冠水による通行	止めの回数	回	0	0					
	評価	[●達成、	既ね達成した ()多少は達	成した 〇遠	惺成できず					
達成度の	= 24 0		プが正常に稼働し	、冠水によ	る通行止めば	なかった。					
評価と説明	説明										
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (O余地はあ	るがまだ時間	引が必要 ●弁	≷地なし				
■将来方向性【	改善(Action)]				_		_			
事業の方向性	〇見直		見状どおり継続	●廃止・							
資源方向性	予算	算額 〇拡大	、○現状 ●縮小		業務量)現状 ●縮小	١			

	通常評価	事業 事後	:評価)								
事務事業名	雨水排水対策事業 事業開始年度 令和 5年										
担当課	建設部	建設課			担当者	笹:	沼 雅				
■事業の執行計											
総合計画体系	政策	05	機能的で住み	みやすい安全な都市機能							
	施策	04	いのちとくらしを守る災害に強いまちづくり								
	基本事業		土砂災害・浸水対策の整備								
事業の目的	浸水被害等の発生を防止するため、道路側溝や雨水排水路の整備を促進し、安心・安全で快										
	適な生活環境の整備を実施する。										
争耒の似安	局地的豪雨等による雨水排水の処理を適切に行うため、測量・構造物設計・物件調査・工事										
	実施の手順により事業を実施する。										
■事業実施結果	【実施(Do)]									
事業費の推移	左	丰度	5年度		6年度		7年度				
	実績/当初予算		実績		実績		当初				
	総事業費		7, 612		30, 745		48, 890				
■前年度の事業		価 (Check)									
指標の推移	指標			単位	5年度	6年度	7年度	8年度			
	区分	111	W. 11 Ju.	+12	実績	実績	計画	計画			
	成果			%	0	33	65	100			
	/X/X IE	次 正				00	00	100			
	==:/m		m 1. \ ± - ± 1		<u> </u>	= 45 12 12					
達成度の 評価と説明	評価 ●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず										
	工事発注を計画的に実施したことにより、目標を達成している。										
	説明										
日古し合地	和中	〇粉左由』	- 目古 司化 /	ノクサイキ	て おこせき 吐胆	まれい 亜 ▲4	>+1h +> 1				
	見直し余地 判定 ○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし										
事業の方向性											
資源方向性 予算額 ●拡大 ○現状 ○縮小 業務量 ●拡大 ○現状 ○縮小											

1 100 1 01410.1	通常評価	西事業 事後	評価)							
事務事業名	準用河川	改修事業	事業開	開始年度 令	和 5年度					
担当課	建設部	建設課			担当者	笹:	沼 雅			
■事業の執行計										
総合計画体系	政策									
				らしを守る災害に強いまちづくり						
	基本事業 05 土砂災害・浸水対策の整備									
事業の目的	準用河川の計画的な改修により、治水機能の強化を図り水害から市民の生命と財産を守る。									
事業の概要	準用河川である菖蒲沢川の約500m区間が護岸未整備であるため、護岸整備に必要な測量・ 設計・工事を実施する。									
■事業実施結果	【実施((Do)								
		年度	5年度		6年度		7年度			
事業費の推移	実績/	/当初予算	実績	実績		実績		当初		
	総事業費		12, 782		7, 183		51, 849			
■前年度の事業	分析【評	在 (Check)]							
	指標指標名称		画夕 称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
指標の推移	区分	181	示句例	甲位	実績	実績	計画	計画		
	成果整	成果 整備率			0	0	46	100		
	評価 O達成、概ね達成した O多少は達成した ●達成できず									
達成度の	事業計画の見直しがあったため、目標を達成することができなかった。									
評価と説明	説明									
見直し余地	判定 ○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし									
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性										
資源方向性	予算額 ●拡大 ○現状 ○縮小 業務量 ●拡大 ○現状 ○縮小									